

藤井寺市公共下水道経営戦略について

「住みたいまち」ふじいでらの実現に向けて

下水道の役割

- ☆水洗トイレで生活環境を改善 ～ハエや蚊の発生を抑える～
- ☆川や海の水質改善 ～大和川も石川も、水路もきれいに～
- ☆雨水ポンプ場で大雨被害の軽減 ～小さな市に2施設配置～

下水道でも「藤井寺市」の価値を高めたい！！

① 下水道を市内全域で当たり前

➡「住みたいまち」「住み続けたいまち」に公共下水道は不可欠

② 災害に強い下水道を整備します

➡災害に強い雨水ポンプ場・下水道管を整備し市民生活を守ります

① 人件費の大幅なカットを実施

➡職員数の削減（44名→14名）、組織再編、業務効率化等

効果額 35億円
※公共下水道事業分
H11～H30の累積額

② 借金の繰上償還で利息を削減

➡公的資金補償金免除繰上償還を利用して利息を削減

効果額 5億円

① 水洗化促進の取り組みを強化

- ➡平成31年度より改造補助金を増額し、前年同期比約3.1倍の改造
- ➡水洗化促進訪問の強化による水洗化率のアップ

これまでの主な健全化の取り組み

さらに強化する健全化の取り組み

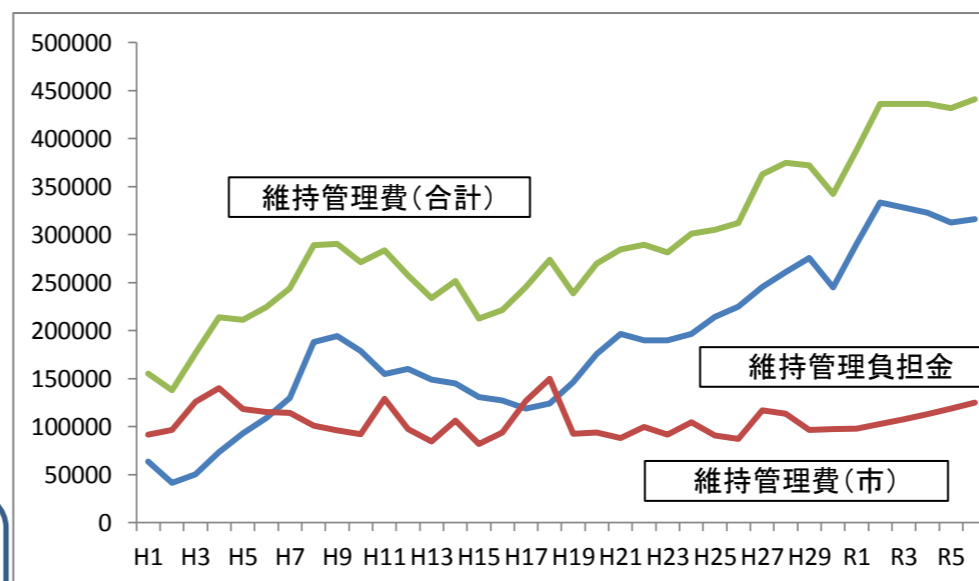
経営上の課題

- ◎市の財政が厳しい状況
- ◎大阪府流域下水道維持管理負担金の増大
- ◎下水道管等の老朽化による維持管理費の増大
- ◎整備を担当する技術職員の不足
- ◎技術継承が困難 等

※「藤井寺市公共下水道事業」は、平成31年4月より地方公営企業法の一部を適用し、独立採算経営を目指す地方公営企業となりました（公営企業会計）

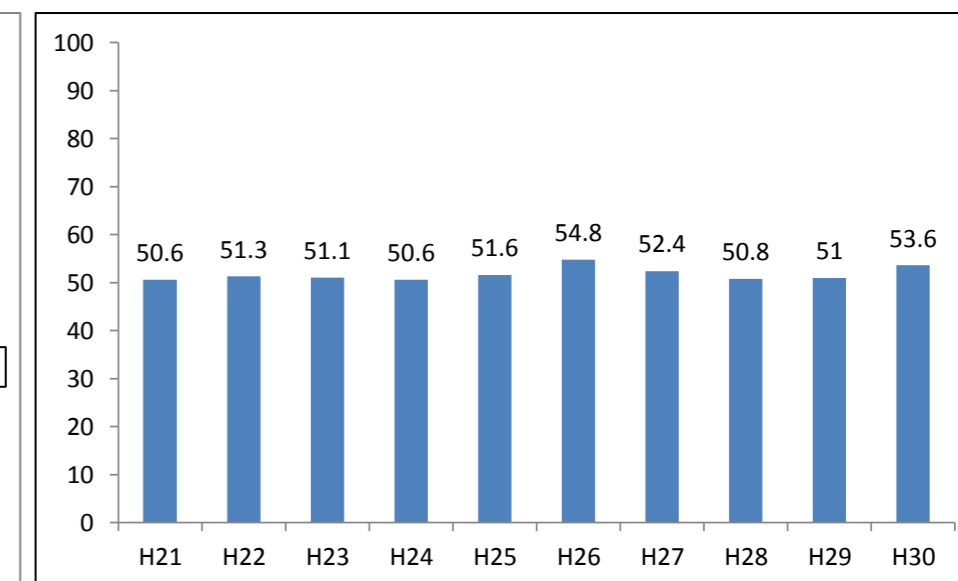
厳しい経営環境① 汚水維持管理費の増大

(単位：千円)

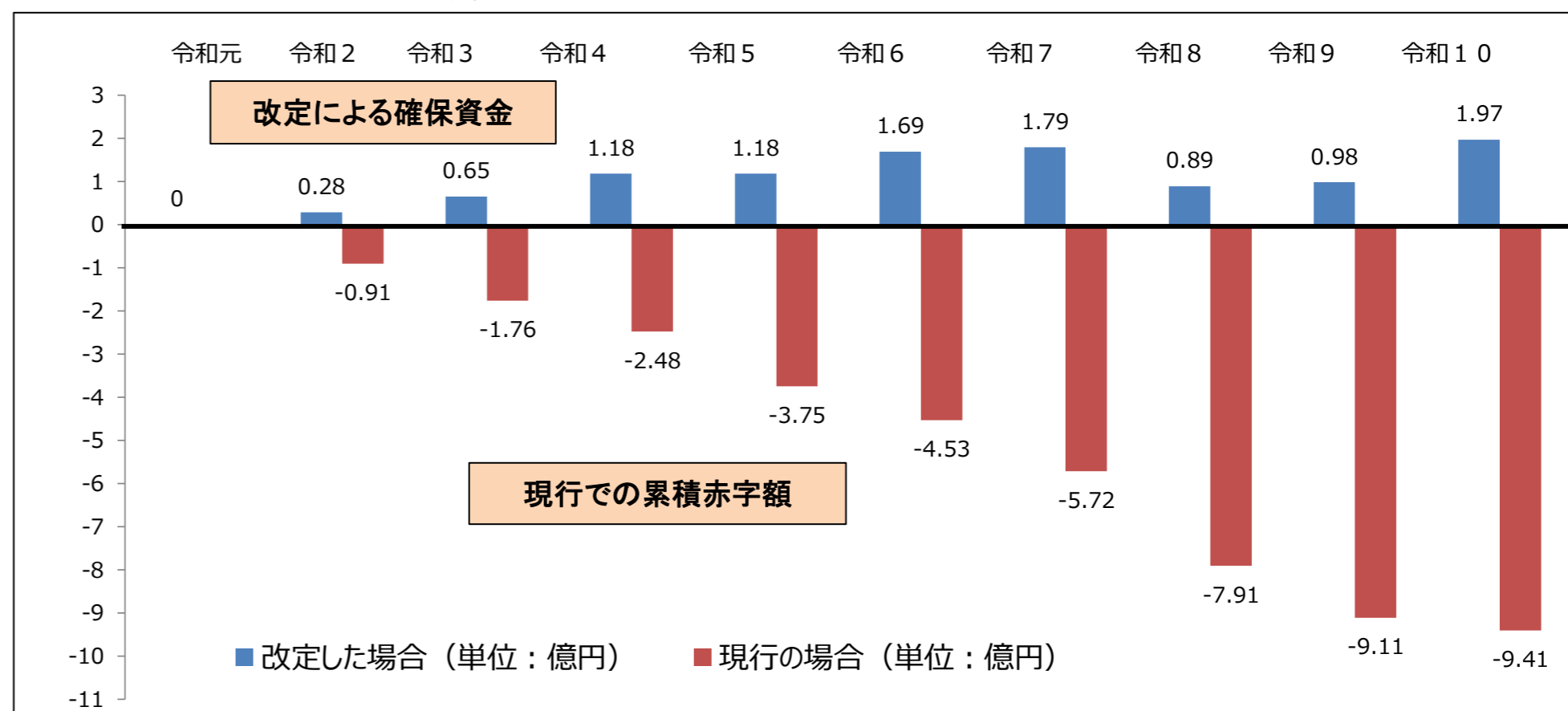


厳しい経営環境② 経費回収率が低い

(単位：%)



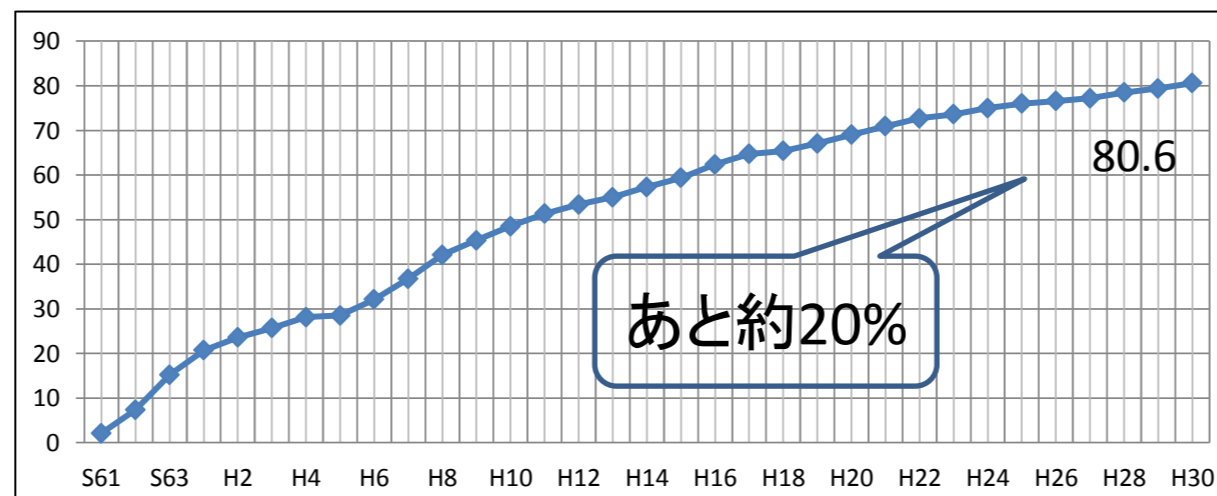
財政シミュレーション試算



※累積赤字を解消し、令和10年度に約2億円の資金が必要最低限とした場合、平均で17.7%の改定が必要

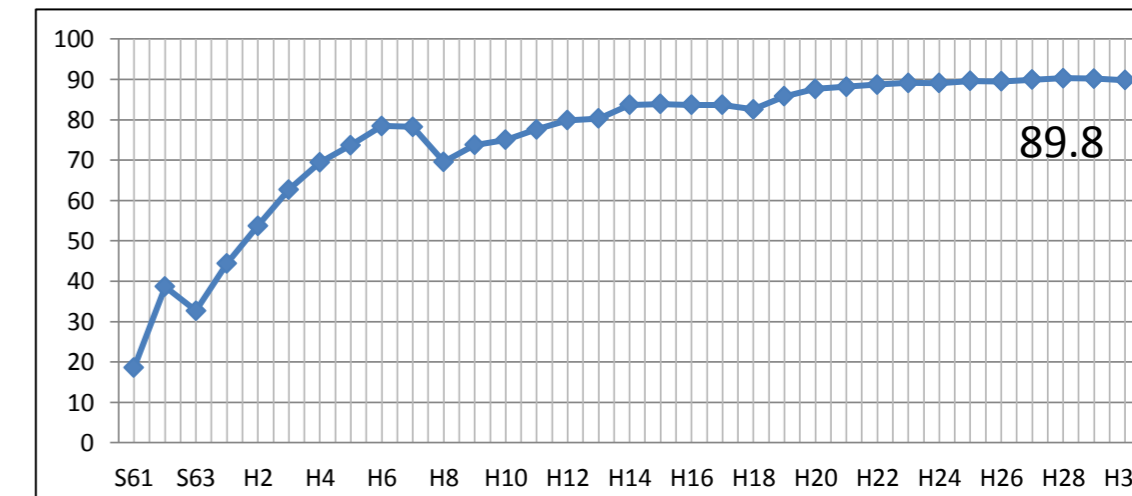
その他の取り組み	
前納報奨金の廃止	◎令和元年度より廃止 効果額：1,110千円（H30決算額）
水洗化訪問職員の増員	◎令和元年度より1名から2名に強化
滞納対策の検討	◎徴収金コールセンターの活用 ◎支払いを促す架電を職員が実施 ◎滞納者への法的措置等も検討
ストックマネジメントの計画及び実行	◎雨水ポンプ場及び管路施設の点検・調査、改築・更新を計画的に実施し、事業量及び事業費の最適化や平準化。

本市公共下水道の整備済人口普及率の推移（単位：%）



【平成30年度末】大阪府内平均：96.5% 本市の大阪府内での順位：36位

本市公共下水道の水洗化率の推移（単位：%）



【平成30年度末】大阪府内平均：97.3% 本市の大阪府内での順位：33位